

【海外拠点】山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所



【香港駐在員事務所】

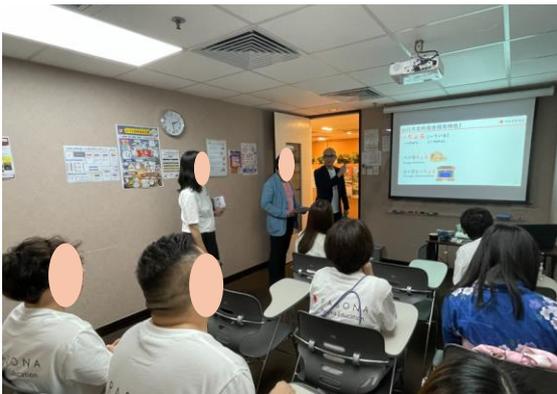
香港でのビジネス展開を開始する方法と駐在員がお手伝いできること

1. はじめに

香港は中華人民共和国香港特別行政区として、いわゆる一国二制度のもと高度な自治権を有し、中国本土の省や直轄市などの地方政府と比べると強い権限を持っています。香港の面積(1,114.6 km²)は、東京都の約半分、山口県の約6分の1で、山口市より少し広い地域に750万人を超える人々が暮らしています。米系銀行シティバンク香港が昨年11月に発表したレポートによると、純資産1,000万香港ドル(約2億円)以上を保有する富裕層は約39万5千人に上るとされています。

香港人は親日な人が多く、香港からのインバウンドは、一昨年は過去最高の約268万人に達しています。また香港では、毎年10月から11月を中心に映画、講演、芸術・工芸、スポーツ、セミナー・教育関連、F&B(Food & beverage)、キャンペーン等の日本関連イベントが集中して行われています。10周年を迎えた昨年は「日本秋祭 in 香港—魅力再発見—」と題し100以上のイベントが行われ、筆者も「Pasona Japanese Language & Culture Festival」、「全港日語演講比賽」、「国際日本語教育・日本研究シンポジウム」、「Happy Wednesday Japanese Festival」、「踊ろう秋祭2025」など数多くのイベントに参加しましたが、日本文化への関心は高く、どの会場も多いに盛り上がっていました。

【筆者撮影】



山口弁講座の様子



山口県観光PRの様子

2. 香港のビジネス環境

香港は食料品をはじめとする生活品目の多くを輸入に頼っています。また、香港は「自由貿易港」であり、原則として多くの品目に関税がかかりません。そのため、世界各国の品物が流通しており、特にスーパーやショッピングモールで目にするものは、日本のものも多く、日本語のパッケージの商品が溢れています。

日本は重要な貿易相手国で、一昨年の香港の輸入を国・地域別で見ると、1位の中国本土、2位の台湾、3位のシンガポールにつづき、日本となっています。また、香港は中国本土や

アジア太平洋地域のゲートウェイとしても重要視されています。

特に近年は日本から、飲食や小売りの出店が活発で、香港の街を歩いていると、外食チェーンの松屋、スシロー、コメダ珈琲など数多くの看板を目にすることが当たり前で、その他にも MUJI（無印良品）、マツモトキヨシ、3COINS などの小売店のほか、昨年末には@COSME が尖沙咀に海外初のフラッグシップショップをオープンするなど、食・日用品から美容に至るまで、香港人にとって和食や日本製品は身近なものとなっています。

【筆者撮影】



昨年オープンした大手コスメ旗艦店



スーパーに並ぶ広島県産カキ

3. 香港ビジネスのチャレンジ

さて、今回は香港で新たにビジネスをするにあたって、具体的にどのような相談がありサポートさせていただいているのか、実際に相談を受けている内容を簡単にお話したいと思います。

【ケース①】

香港の百貨店やショッピングモールで期間限定のポップアップストアを開き、香港での市場調査と海外販路の新規開拓を行うとともに、国内における自社製品のブランド力アップを図りたい。

- ・実際に香港にお越しいただき、香港で候補地となる3大商業エリア（尖沙咀、旺角、銅羅灣）などの、ポップアップストアの様子を視察していただきました。また、ポップアップストアの開設時に商業施設と交渉し、店舗の装飾、販売員の手配、宣伝広告など商業プロデュースを手掛ける、実績も豊富な日系企業様と面談いただき日本との違いや香港ポップアップストアで成功するためのレクチャーを受けました。他にも、サンプルとして自社製品を持参いただき、現地の香港人の評価を実際に聞くことで、現地の嗜好、市場調査を行いました。
- ・香港でのポップアップストア開設に向けイメージを沸かせることができ、実際に香港向けに製品開発も終え、今後、具体的に話を進めていくことになりました。

【ケース②】

香港で開催される国際展示会に出展して自社の新製品のPRとアジア各国・エリアのバイヤーと商談を行いたい。

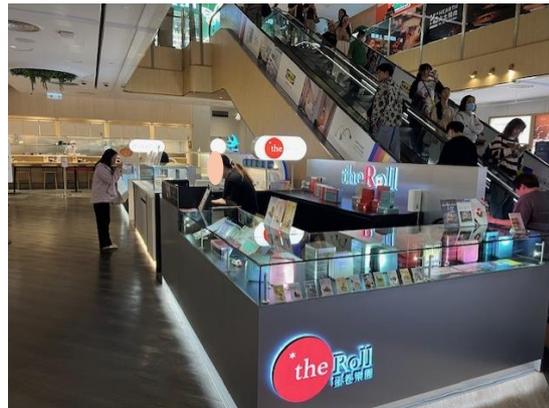
- ・香港で今年開催される展示会主催団体への取次を行いました。また、具体的に自社製品を日本から輸送し、展示会終了後にバイヤーへの配送、もしくは廃棄処分する物流会社を紹介していただきました。実際に展示会へ出展することを決められ、すでに展示会の申込みを終えられ、出展準備を進められています。

【ケース③】

近年 ASEAN の他の国で現地法人を設立し自社製品の販売を開始しましたが、次は香港での展開も視野に入れ、現地の具体的な規制やハードルなどのレクチャーを受けたい。

- ・ JETRO 香港を通して業界に通じた専門コーディネーターと個別に WEB 面談をいただき、現地の法規制の詳細について説明を受け、自社製品の一部は香港向けに輸出できないことが判明しました。早い段階で、香港での戦略を練り直すことができ、香港向けに輸出できる自社製品をピックアップし、検討していくこととなりました。

【筆者撮影】



香港のポップアップストアの一例

4. おわりに

近年は香港や中国などの東アジア諸地域はもちろん世界を取り巻く環境は大きく変化しています。その中で、経済面においては、香港を中国本土やアジア太平洋地域のゲートウェイとする評価は変わっておらず、特に経済活動の自由度、開放的なビジネス環境は、香港の最大の魅力となっています。

また、香港では大湾区計画（香港、マカオ、および広州や深圳など広東省 9 の都市を世界的なベイエリアとする構想）や北部都会区発展計画など、国際的なイノベーションやテクノロジーハブなどの拠点とする一大プロジェクトも進められており、世界からの注目度も高まり、新たな投資やビジネスチャンスが生まれることが期待されています。

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店までお問い合わせください。

(山口銀行香港駐在員事務所 中川 喜代志)

【参考文献】

- ・ 香港経済貿易代表部 HP
<https://www.hketotyo.gov.hk/japan/jp/business/doing/>
- ・ 香港政府統計處 HP
<https://www.censtatd.gov.hk/tc/>
- ・ 日本貿易振興機構（JETRO）HP
https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/basic_01.html
<https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/gtir.html>
- ・ 「日本秋祭 in 香港」公式ホームページ
https://japanautumnfesinhk.net/about.php?id=2&lang_id=3
- ・ 香港経済新聞
<https://hongkong.keizai.biz/headline/2714>
<https://hongkong.keizai.biz/headline/2483/>